

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

杵岐で育てたエゾアワビのブランド構築と普及事業

杵岐で育てた昆布を餌として、陸上養殖施設を使ってエゾアワビを養殖し、生食用およびアワビ加工品として販売する。

連携体

農林漁業者 有限会社二協開発（水産養殖業）

エゾアワビの餌となる昆布、および陸上養殖施設を使ったエゾアワビの養殖に取り組み、安定供給に努める。

中小企業者 株式会社ミューズ（各種商品卸売業）

杵岐で育てたエゾアワビを使った加工食品の開発を行い、生食用とともに販売することに取り組んでいく。

連携参加者 杵岐東部漁業協同組合、勝本漁業協同組合、NPO法人海の森づくり推進協議会、有限会社平田旅館、株式会社コアーズ、株式会社澤本商事

エゾアワビの餌となる昆布養殖支援、エゾアワビ加工品・メニュー開発、陸上養殖の技術面における支援を行う。

サポート機関等 (独)中小企業基盤整備機構関東本部、西武信用金庫

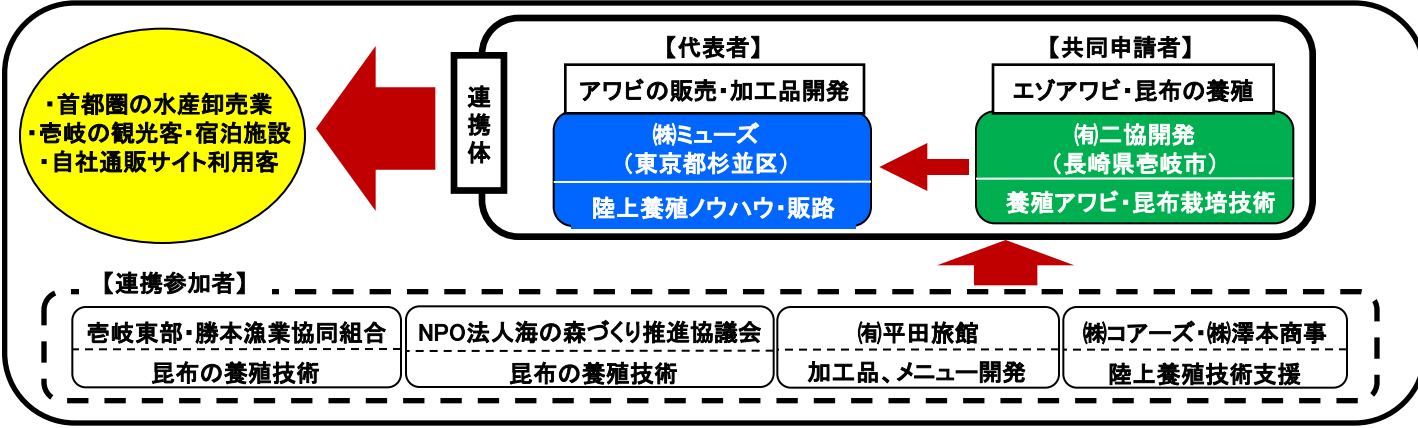
連携の経緯

(株)ミューズは、自社通販サイトにおける独自性の高い魅力的な商品開発と、長年研究を重ねていた、陸上養殖の技術の実用化を目指していた。一方(有)二協開発は、(株)ミューズの社長の故郷杵岐において、磯焼け防止用の昆布を栽培しており、昆布の新たな活用方法を模索していた。この両社の思惑が「アワビの養殖」という取組により一致、今回の連携に至った。



連携に当たっての課題や工夫等

アワビの海上養殖は難しく、品質や安定供給などの面で課題がある。(有)二協開発は、陸上養殖施設を使い、自社で育てた昆布を餌としてエゾアワビを養殖し、安定供給に努める。(株)ミューズは、杵岐で育てたエゾアワビを、生食用として販売するとともに、(有)平田旅館の協力のもと、杵岐らしさを活かした加工品およびエゾアワビを使ったメニュー開発に取り組み、首都圏および杵岐での販売に取り組む。



連携による効果

農林漁業者 5年で20, 275千円の売上高増加、利益率の向上

陸上養殖施設で育てたエゾアワビの安定供給に努めることで、漁業経営の安定に貢献すると期待される。

中小企業者 5年で34, 269千円の売上高増加、利益率の向上

杵岐で育てたエゾアワビの販売と、加工品の開発・販売に取り組むことで、売上の増加と利益率の向上が期待される。

代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社ミューズ	所在地：東京都杉並区高円寺南1-11-6
T E L：03-5305-6608	F A X：03-5305-6609
E - m a i l：info@muse-co.com	ホームページ：http://www.muse-co.com/index.html